

経営のいずみ

ホームページ(URL) ● <http://www.shokoren-nara.or.jp>



春日の社に咲く馬酔木

馬酔木の花

早春に咲く花のひとつに馬酔木がある。花は鈴蘭のごとく、木の枝に咲くため、それとは異なることが分かる。花に触れると、かさかさとした音がする。古くは、万葉の時代にも存在したようだ。その枝葉には、動物をしびれさせる毒液が含まれるためか、これを馬が食べると、酔うようなしびれを見せるためその名がつけられている。鹿もこの木だけは避けたため、春日の社でもあちこちで残る。この馬酔木にちなんだ歌一首。

磯の上に 生うる馬酔木を
手折らめど 見すべき君が

ありといはなく(巻一六六)

(大意) 水辺の岩のまわりに咲く馬酔木を手折って弟のあなたに見せようと思っけれど、その人はもうこの世にいないとは誰も言わないことだ)

作者は伊勢神宮の斎宮を勤めていた大御皇女。弟は文武の才豊かなるが故に、わが子(草壁皇子)を天皇にしたい持統天皇にうとまれ、24歳の若さで刑死を賜った大津皇子である。

誰が可愛い弟を死に至らしめたのか、しかも無実の身なのに。口に出さずとも皆知っている事実だ。

あきらめきれぬ無念の思いを抱いて、大和に帰郷した大伯の思はいかばかりだったのか、花に託した思いは何だったのか。

あしびの清楚で可憐な花びらは、春とは名ばかりの寒風に咲く。

● C O N T E N T S ●

馬酔木の花.....	1	I S O 認証取得を応援します.....	5
平成18年度臨時総会開催.....	2	がんばる中小企業.....	6
若手経営者・後継者フォーラム.....	3	認知症の方を地域全体で守ろう.....	7
「奈良発がんばる中小企業・君岡鉄工株」.....	4	「へ～」のいずみ.....	8

平成18年度の事業計画・予算などを決める

県連
臨時総会

平成18年度の事業計画や収支予算などを決める奈良県商工会連合会の臨時総会が、3

月24日、奈良市法蓮町の春日野荘で開催された。当日午後一時。同総会に先



審議に先立ちあいさつする久保県連会長

立って開かれた理事會では、總會提出議案、定款や運営規約の一部改正案などが審議、原案通り承認された。これに引き続き、午後3時から臨時總會が開かれ、県下41商工会のうち、40商工会（委任状出席6含む）から、各商工会の

会長ら、代表者が出席。

まず、開会のあいさつに立つた久保会長は、「日頃、県連に対し多大のご支援、ご協力を賜り、感謝申しあげたい。平成19年度の県内広域連携の完成まであとわずかとなり、先を急がなければならぬ。また、経済の動きはまだ本格化していない。中小企業はまだまだ苦しい。皆さんと力を合わせ頑張っていきたい。本日は新年度の予算案と事業計画を提出させていただくので、慎重審議をお願いしたい」とあいさつ。

続いて栗栖副会長を議長に選出し、平成18年度の事業計画案、収支予算案等を慎重審議し、いずれも原案どおり可決承認した。このあと、理事會で承認された諸規定の一部改正の報告がなされた。

ゼロエミッションの推進に向けて

奈良県では、産業廃棄物の排出抑制や減量化、リサイクル、適正処理の推進に取り組み県内の事業者を支援するため、環境カウンセラーの派遣や環境コンサルタントの活用、ゼロエミッション推進計画の策定、リサイクル技術の研究開発などに対して助成を行っています。

支援の種類	支援の内容
情報やアドバイスが欲しい！ 環境カウンセラー派遣	環境省で登録された環境カウンセラーを派遣します。環境カウンセラーは、環境保全に関する豊富な実績や経験があり、企業などの環境保全活動に対する評価、診断、助言や社員研修などを行います。派遣日数5日限度。 (派遣費用の負担は不要)
生産ラインや処理システムを改善したい！ 環境コンサルタント活用支援(補助金)	生産ラインや廃棄物処理システムの改善プラン策定などについて、環境技術に関する専門的資格をもつコンサルタントを活用する費用の補助を行います。 【例】生産工程の見直しによる部品、資材使用量削減、廃棄物の分別回収と再資源化の促進 (補助率2/3 限度額50万円)
同業者と協力してゼロエミッションに取組みたい！ ゼロエミッション推進計画策定支援(補助金)	複数の県内事業者が共同し、または県内の事業者団体(法人に限る)が、その団体を構成する事業者のために、取り組む、生産ラインの改善や静脈物流システムの形成などのゼロエミッション推進計画の策定費用を補助します。 【例】廃棄物のリサイクルフロー(分別、再生、熱利用)静脈物流の形成(回収、解体、再生) (補助率2/3 限度額150万円)
研究開発の支援(補助金)	リサイクル技術、リサイクル製品の研究開発を行う県内事業者等に対して補助を行います。補助対象は、審査委員会の専門的審査に基づき、抑制効果、新規性、普及可能性の高いものを選定します。大学その他の試験研究機関との共同研究なども対象に含まれます。 (補助率2/3 限度額700万円)

詳細について知りたい方には、平成十七年度版「事業案内」を送付致しますので左記までご連絡願います。

照会先 〒630 8501 奈良市登大路町30
奈良県 廃棄物対策課 リサイクル推進係
TEL 0742 27 8746 FAX 0742 22 7482
ホームページ <http://www.pref.nara.jp/hakji/>

若手経営者・後継者フォーラム 「青年部活動と家業」をテーマに

県商工会青年部連合会

県商工会青年部連合会（植村賢一会長）は、三月十三日、奈良市内のホテルで県下の青年部員らを対象にフォーラムを開催した。

これは、商工会青年部員らが、日頃の家業や、青年部活動との関わりについて、本来あるべき姿をもう一度考え

直してもらおうと開かれたもの。たとえ業種はちがっても同じ地域内で事業を継承する者、経営する者同士が、相互に切磋琢磨しながらその力量を養うという商工会青年部本来の目的を自覚してもらい、さらには組織風土の改革につなげてもらえればとの目的で開かれた。



杉本氏（左）をコーディネータに進められたパネルディスカッション

午後2時から開催された同フォーラムでは、植村会長のあいさつに続き、大高衛全国商工会青年部連合会々長（千葉県成東町）が平成18年度全青連事業と今後の青年部のあり方」と題し、同氏自身が日頃感じている問題点等について講演を行った。大高会長は「私の目指す青年部とは、20代前半の、経営のことなど勉強したいとも思っ

ていない部員が、約20年後の40歳卒業時には一人前の経営者、事業承継者としての力量を備えた人材に育成できる拠点組織である。人生の一番大切な時期とともに磨き合える仲間、組織であつてほしい」

「青年部事業として、旅行やイベントも良いが、まずは部員を育てられる組織、国や県に訴求できる力をつけ、評価され、必要とされる組織となることが最優先である。逆に本来の目的が見えなくなれば、存在意義が問われる」と熱く語った。また、全青連で全国的に展開しているモニタースタッフ募集登録事業について、大高全青連会長と植村県青連会長から事業目的、内容、効果などについて説明が



あいさつをする植村県青連会長



熱く語りかけた大高全青連会長

行われた。

出席者からは数多くの熱心な質問が寄せられ、そのたびに両氏から分かりやすい説明があり、真剣に耳を傾けた。

続いて行われたパネルディスカッションでは、経済ジャーナリストの杉本好正氏をコーディネータにして、県商工会議所青年部連合会の木原会長、県経営者協会青年経営者部会の上村部会長に、大高全青連会長、植村県青連会長らを行われた。

まず、杉本氏から「家業にとつて 守るべきもの 変えるべきもの 新たに生み出すべきものは何かを常に自問自答しながら活動してほしい。創業者の理念を継承すること

が皆さんの責務である。また、地域（行政）から必要不可欠な組織として認めさせることが重要だ」との提言がなされた。

このほか、事業承継者として自企業の他に誇るべき点を明確にして経営理念を立てること。地域社会の一員として法令遵守の基本を学ぶこと。

青年部活動の改革を通じて親会の商工会活動を革新していくことなどが提言された。

さらに、県内友好経済団体（商工会議所や経営者協会等）の青年部との交流や連携をさらに深めて、地域や社会の再構築を目指して力を発揮してほしいとのアドバイスがなされた。

県青連では、今回のフォーラムの開催を通じ、部員増強運動やモニタースタッフ募集登録事業を通じた組織強化や県青連執行部、単商部長、部員の三層間の連携をより密接にし、青年部の目的である家業につながる青年部活動の推進や、あるべき姿の明確化などは今後とも「継続テーマ」として持ち続け、中長期的な組織強化をめざすつもりである。

「奈良発ガンバル中小企業」

「ISO9001認証」取得第1号

「くい丸」に賭ける

君岡鉄工業(株)(奈良市)

天理市福住から宇陀市榛原区に向けて山間を抜ける農免道路のほぼ中間地点交差点を約一キロばかり桜井市の長谷方向へ入ったところにその工場はある。鋼管杭「くい丸」くんのふるさと(生産拠点)君岡鉄工業さん(従業員13名)だ。およそ390平方メートルの工場内は、毎日が寸暇を惜しむフル生産だ。

丸パイプを切断の上、両端を絞り加工し、頭と杭先に軟鉄の専用金具を溶接で取り付ける。従業員がそれぞれの部署で完成品をめざし、一心不乱に作業中だった。

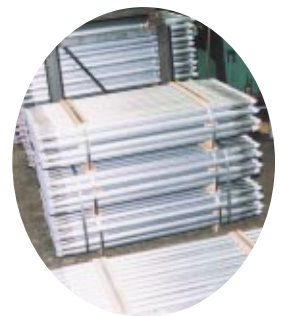
杭(くい)とは何か

そもそも杭とは何か。本来は木製のもので、地中に打ち込み、横桟をはめ込むこと等によって



市場県連専務から県「経営革新計画」の承認書を受ける君岡社長(右)

柵をつくり、土砂、水、雪などの崩壊漏出を防ぐのが第一の使命だった。ところが最近では、外国産材の急増、木材価格の低迷により、生産者が木を切り出さなくなり、山が荒れ、したがって杭を作る小径木も山中から採り出さなくなったり、放置しているのが現実である。しかし一方で、建築用の杭は、一時期に比べ、むしろいろいろなる用途に



完成した「くい丸」

使われ出した。たとえば、当社鋼管杭「くい丸」はJR東海の新幹線レール用のレベル基準杭として納入された。

具体的には、一定間隔で枕木の両端にこの杭が打ち込まれ、その頭頂が水平同一レベルでネジ調節されているため、レーザー等の計測器具で測れば、瞬時にどの位置の枕木の地盤が、どの程度、隆起もしくは沈下したか計測できるようになった。

これによって、地震が発生した場合でも、この地点で、どんな現象が生じたか、すぐに把握できるシステムが構築されたことになる。

逐一、現場に足を運ばなくてもコンピュータ上に数値として現れるという訳だ。

この杭の材質を、たとえば鉄からステンレスに変えれば海岸での防波用、防砂用の杭としても使える。

レジャー用の丈夫なテント杭としても、家庭用の犬つなぎ杭

としても勿論、使用可能である。そして何より大切なセールスポイントは、木製杭のように腐らないので、引き抜いて、何度も使える点だ。

「くい丸」なら難地盤やアスファルトでも打ち込み可能だし、短時間で作業が完了でき労務費のコスト削減にもつながる。

君岡誠治社長によれば、先日、某有名歌手グループの野外コンサートで、人なだれ防止用の杭として使用されたという。また、自衛隊のイラク「サマール」基地での施設造成のための杭としても使用されている。

なぜこの地に進出したのか

君岡社長の言によれば、同社は昭和48年の創業で、もともと、兵庫県尼崎市内に工場を有していたが、そこは住宅地も増え、公害とは無縁ながら、年とともに工場用地には適さなくなっていくたという。

逆に当地では、余地に恵まれ、地価も安かったため、将来の業容拡大にも対応できると見て当地に進出してきたという。現工場はおよそ三百九十平方メートルで、現工場の南側に約二百平方メートルの余地を確保。完成製品の保管機能も併せ持つ新工場をと考えて

いるという。

ISO9001基準認定工場

県連合会では、同社の主力製品「くい丸」が順調に売り上げを伸ばし、今後も商品供給体制の拡充を目指して意欲的な取り組みをしているところから、さらに商品力を高め、併せて一層の経営や生産体制の効率化を支援するため、平成16年12月から地元、都祁(当時「村」)商工会とともに指導に乗り出した。その中でテーマとして取り上げたのが、ISO9001:2001の認証を受けること、県の中小企業活動促進法による経営革新計画の承認を受けること。これらによって、人と組織にイノベーション(革新)を定着させ、顧客からの同社への経営や事業、商品に対する評価と信頼性を飛躍的に向上させることが目的である。さらに金融機関からの信用アップにもつながることは疑いなくあったからである。

このISO認証をうけるためには、生産工程の効率化・標準化は、避けて通れない。ISO基準を満たすために、同社の社長以下、従業員全体で生産工程の洗い出し、マニュアル化、データ分析から各工程の改善など



新幹線の基準杭として採用されている「くい丸」

「くい丸」考えた。同社では、社長の長男、次男

今後も継続的に経営革新を推進するため、同社では4月以降も県商工会連合会の支援を得て環境改善をめざしてISO14001の認証取得に取り組む予定である。

そしてこれから

に取り組み毎日が続いた。そして、平成18年2月。認証審査機関の審査を受けて見事合格、認証された。中小企業新事業活動促進法に基づき経営革新計画の承認申請にも積極的に取り組み、テーマを「製品力を活かした新市場の受注拡大と供給体制の確立」として県（新産業創造課）に申請し、2月28日付けで承認された。

「今後につきましましては、一層、生産ラインの効率化や、コスト低減の意識を持ち続け、一本でも多くの商品を市場に提供できるように頑張っていきたい」と語った。

「くい丸」が良い。管杭の商品名「くい丸」が良い。覚えやすく、愛着がもてる。その働き場所が土や岩の中とはいえ、陰で立派に人間を支えてくれている。君岡社長は「このたび、おかげさまで県商工会連合会さんや、地元商工会のご支援・ご協力によりそれぞれ認証が得られました」

とにかく時流に乗ることが大切だ。次男の真兵氏は、ISO9001品質管理責任者としてたゆまぬ品質向上に力を発揮している。長男鉄兵氏も工場長として頑張っている。頼もしき両輪である。

が生産面を担う幹部社員として活躍しており、社長の「良き相棒」になっているのが何よりの強みでもある。今後、さらに強力なライバル企業が出現する可能性もあるがその時には、決定的な「差」をつけるのがこれら「経営革新」に対する幹部のリーダーシップかもしれない。

中小企業向け

ISO認証取得を応援します

お問合せは、地元商工会・商工会連合会へ TEL 0742(22)4412

現在、ISO14001:2004、ISO9001:2000の認証取得に向けて、県内中小企業(金属加工業・電気工事業)を支援中!

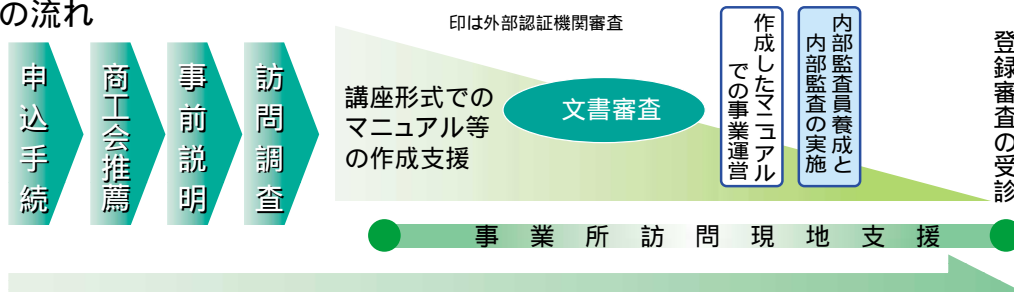
～ 認証取得支援事業の概要 ～

1. ISO認証取得支援の規格

- ISO 9001:2000 (品質QMS) 認証取得支援
ISO 14001:2004 (環境EMS) 認証取得支援

但し事業所規模は、原則従業員30人以下とし、又小規模事業所を優先とします。

2. 支援の流れ



(無料で専門家によるISO概要と認証取得に係る説明をいたします。)

3. 支援経費等(認証取得手数料等)

支援経費は80万円程度ご負担いただけます。(企業規模・従業員数で若干異なります)

ただし、別途下記の外部の認証審査登録機関にかかる費用が必要です。

認証審査登録機関へ支払う金額は企業規模(従業員数)で異なる場合がありますが、概ね100万円から150万円程度必要です。認証審査登録機関の紹介についてもご相談に応じます。その内訳は文書審査 / 本審査 / 登録料などとなります。

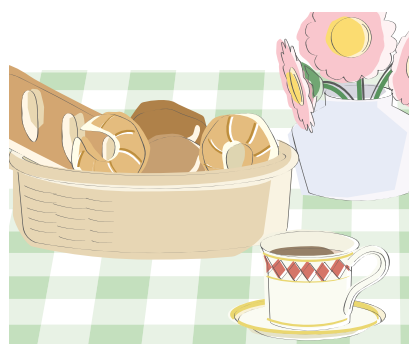
ISO認証登録完了



創業時にはたった4坪の店舗で年商およそ240万円。わずか40年でこれを1、600倍以上に伸ばした企業がある。

「おいしい菓子とパンはその街の顔であり、文化である」このモットーをテーマにして、山形市を本拠地に、じつくりと全国にファンを育て、顧客を広げた洋菓子・パンメーカーがある。それが㈱シベール(熊谷眞一社長)である。小さなお菓子屋さんとしてスタートして、今や県内外に22の支社、事業所、工場を持つまでになった。

しかし、同社はただ、いたずらに大企業となることだけ



を目標とせず、「これからも(熱く)たぎる思いで小さな大企業を目指す」同社ホームページ)と良質企業への道を歩む。

同社の創業は昭和41年(1966年)。生家の和菓子屋を継がず、若き熊谷氏は隣県の仙台市へ洋菓子修行に出かけ、25歳の時に、ふるさと山

形へ戻って洋菓子店を興した。わずか4坪たらずの店で年商も240万円だったと同社長は振り返る。しかし、そこはアイデアマンの同氏のこと。売り上げ増を図るため、店のPRに努力し、またたく間に年商3000万円突破を達成。さらに、その10倍増をめざし、洋菓子製造に乗り出し、仙台へも進出した。山形市内で多店舗展開した時には、商圏が重なり、自店同士の食い合いという苦い経験もした。

売り上げが頭打ちとなってきた平成6年頃、発想を転換してこの壁を破ろうと考えた。それは、山形や仙台のお客さまだけを相手にしているための限界と感じた結果だった。全国のお客様を相手に商売できないものか。たどりついた答えが**通信販売**だった。しかし、食品の持つ特徴というべきか、悲しさというべきか。時間の経過と共に商品は劣化

する。この壁を突き破るべく真空パックなども取り入れた。できるだけ商品数を少なくし単品だけをあつかうPIS事業(全国単品無店舗販売)とした。その際、既存のものの他店にあるものではなくありそうでないものとの観点から商品づくりを考えた。この結果生まれたのが今日、同社の最強主力商品となっているラスクフランス(焼き菓子)だ。このラスク、もともとはフランスパンの2次加工品であったことから生産や販



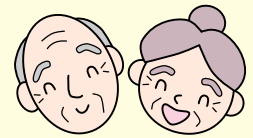
売の現場では、社命を賭けてのチャレンジに、ためらいや異論もあった。その点を社長自らが時間をかけて社内外の反対論者を説得してまわった。そして何よりも、サンプル販売の反響がまずまずであったことから、「ラスク」に賭けたラスク製造のためだけに上質のフランスパンを焼き、注文のあった分だけ毎日手づくりする新鮮さが評判を呼びこのラスク通販はあつという間に主力商品に育っていった。

99年には、ラスク専用の製造ライン「麦工房」が稼働を始め、東京(青山)や大阪(梅田)という大都市にも店舗進出を果たした。

平成17年8月期の決算では年商38億6500万円に達し、現在、全力疾走中である。

小さな大企業シベールの菓子文化はさらに輪を広げ、味と香りを全国に送り込もうとしている。

認知症の方を 地域全体で守ろう



先日、某テレビ番組を見ていたら、あるスーパーの店内で、少し身づくろいがずさんな高齢者の方が、陳列してある商品（バナナ）を食べたり、レジを通らずに持ち出したりする光景が画面に映し出されていました。

そこへ、それを見ていた店員が駆け寄り、かけた言葉が「そんなことをしてはダメでしょう」というものだった。

通常人相手なら当然とも言えそうなこのセリフやこういうシーンが今後、我々の身のまわりに数多く見られるようになるかもしれません。

この高齢者の方、実は一人住まいで、認知症の方だったのです。平成14年度の国民実態調査によれば、「今後、高齢化社会が進むにつれ、心配することは何」との質問に、最も多い三分の一が「ひよっとしたら、自分も認知症になる

のではと不安」とのことでした。さきほどの例に戻ると、店員は「おばあちゃん、ちょっとこちらへ来てね」と事務所へ誘導し、家族のことを聞き出して連絡するか、それでも分からない時は、市町村福祉課へ連絡し、「ご本人を確認してもらおう」というのが適切な対応姿勢でした。

高齢者の方は自分が誰なのか、何をしているのかさえ判断できていない場合があるのです。むやみに、大衆の面前で、頭ごなしに叱らないように心がけましょう。

商品代金の弁償は次の段階のことにすべきであり、まずは本人のプライドを傷つけないように保護しましょう。

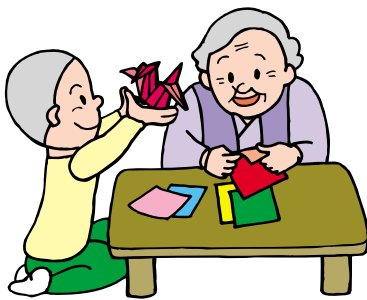
このように、認知症は年齢を重ねることによって、脳細胞などの萎縮によって、ある種の記憶や判断のできない病気なのだという理解がまず必

要です。そして、社会全体でこれら認知症の方を温かく支えていくようにしていくことが大切です。

今日はテレビで見た映像が、現実の出来事として明日、地方の小売商店の店先で見られるかもしれません。

認知症の方を地域のみならず暖かく支えていきましょう。隣近所の住民だけではなく、地域の構成メンバーの一員であるすべての人のご理解、ご協力が必要です。あなたのお力をお貸しください。

なぜなら、「明日はわが身」というくらい、現実の話になつていくかもしれないのですから……。とにかく、対岸の火事と思つのは禁物です。



お年寄りを大切に

4月・5月の無料相談

あなたの悩みや問題を 弁護士、中小企業診断士へ

秘密厳守

商工会では、商工業者の皆様の無料相談所を開設しています。借地・借金・金銭・不動産売買による紛争、交通事故などの法律問題、店舗の改装・経営の改善・金融などの経営問題、お買物相談を県商工会連合会の顧問弁護士、中小企業診断士の先生方がご相談にあたります。

今回の開催は左記の地区となっております。お悩みの方は地元商工会へお申し込みください。

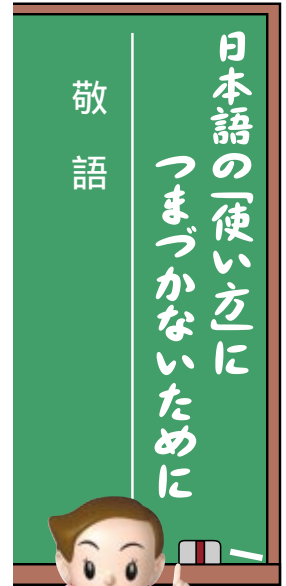
尚、相談による秘密は厳守いたしますので、安心してご相談ください。

1回目			
申込期限	相談日	対象地区	
4月13日～4月20日	4月27日(木)	葛城市(新庄・当麻) 香芝市・王寺町 広陵町	4月
5月16日～5月23日	5月30日(火)	大和郡山市・三郷町 安堵町・平群町 斑鳩町	5月

法律以外の相談日については右記以外の日となります。

相談場所や時間等、詳しいことは地元商工会もしくは奈良県商工会連合会へお問い合わせください。

奈良県商工会連合会 TEL:0742-2214413(ダイヤルイン)



遠慮がちな人に「どうぞお

茶をいただいでください」と

勧める言い方は、日頃よく聞

く言葉ですが、どこかおかし

いと感じられる方、あなたは

「さすが」と言われます。な

ぜなら、この「いただく」と

いう言葉、もらう、食べる、

飲む等の意味を持つ言葉の謙

譲語(自ら「へりくだる」語)

もしくは丁寧語なのです。

「こしょうをかけると、一

層おいしくいただけます」の

いただくの表現例は、丁寧語

です。

「この本は、社長にいただ

きました」のいただくは、も

らうの意味でへりくだった謙

譲語です。

また、食べる、飲むの謙譲

語として「十分、いただきま

した」という表現もあります。

それでは、最初の「お茶を

いただいでください」の例に

戻りますと、この場合、いた

だくを用い、丁寧に表現した

つもりかもしれませんが、こ

れでは結果的に相手がへりく

だつてしまうことになります。

「飲む」を敬語として使うの

なら「召し上がる」を使って

「お茶を召し上がって下さ

い」が正しい使い方というこ

とになります。あなたは大き

夫ですネ。

「召し上がって下さい。」



母子家庭の方の雇用について、ぜひお考えください!



奈良県母子・スマイルセンター (TEL 0744-29-3043)

県母子・スマイルセンターは、母子家庭のお母様の経済的自立を目指した就労支援の窓口として、多くの方々の相談を受けています。(県社福センター内)

相談に来られる方々は、みなさん、こどもの健やかな成長、幸せを願い、経済的な自立に向け、熱心に求職活動をされています。

子育て中のため、勤務時間に制限があるなど、よりよい就労の場が得にくい状況もありますが、就労に向け、資格取得などスキルアップのための研修に取り組んでおられる方もたくさんおられます。

こどもたちの健やかな成長のためにも、母子家庭の就労にご理解をいただき、雇用を積極的にお考えください。

F男の

「へる」のいずみ

14

雑学のムダ知識

青春とは……

人の一生はよく四季の移り変わりにたとえられます。

たとえば、人生の春は青春と言われます。なぜ春の頭に青がついているのでしょうか。さすれば、夏はというと、朱夏と言われます。秋は白秋で、冬は玄冬とも言われます。いずれも色が頭に使用されています。朱は赤を、玄は黒を意味します。これらはどこからきた言葉なのでしょうか。

中国の故事によれば、季節それぞれにつかさどる神がいるのです。春は青竜が、夏は朱雀、秋は白虎、冬は玄武が守護神という訳です。ここまできると、すでにお気づきだと思いますが、キトラ古墳の石室壁画を想像してしまいますね。つまり、この四神は同時に方位の守護神でも

あったのです。

ところで話を元に戻しますと、青春とは、この青竜神がつかさどる季節であるところから、その頭に青をつけたのです。同様に、朱雀が夏の頭につくと朱夏、白虎が秋の頭につくから白秋、玄武が頭につくと玄冬という言葉になったのです。わが国の国技、相撲でも青、赤、白、黒色の房を四つの方向に垂らして各方向を守護しているのです。

そしてもうひとつ、古代の都を定めるとき、この4つの神が守る地が最適とされ、四神相応の地」と呼ばれていました。

北方には山があつて、東側に川が流れ、南方には平地があり、西側には道がある。そういう地域が都として最適な条件を備えているという訳です。

平城京や藤原京などの地形を考えてみると、「なるほど」という気がします。不思議ですね。